

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	タクシー運転手	・当地区は客単価は低い、乗せる回数が非常に多くなってきている。1年前からみても客数はかなり増えているので、売上は年間5%くらいは伸びていく。
		通信会社（営業担当）	・当社のハードディスク内蔵セットトップボックスの契約数が非常に伸びている。デジタル対応テレビの次に購入するであろうデジタル機器であるが、契約数から考えると興味を持っている層は結構いるようである。
	やや良くなる	百貨店（売場主任）	・今月末から始まる夏の大手、夏のクリアランスも今までのプロパーの動きからいって非常に良い動きとなると見込んでいる。7月には夏素材で秋色の商品を早めに展開し、その辺の早期受注を図るつもりである。新しい提案をしていくことで必ず良い結果が得られると考えている。
		衣料品専門店（統括）	・夏に向けて各地区で祭り、町内の納涼祭など、いろいろなイベントが計画されており、徐々に注文が増えてきている。10月にある地元の祭りに向けて、各団体が準備を始めるので、商品、品物が動き出す可能性が大きくなっている。
		その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	・番号ポータビリティ直前でもあり、キャリア間の価格、サービス競争が激しくなる。
		スナック（経営者）	・宴会の動きは前年並みであるが、通行量とフリーの来客数が少し上向いてきているので、良い傾向である。
		都市型ホテル（経営者）	・このまま本景気になれば良いが、原油高での消耗品、燃料の急騰、雨天続きによる野菜の急騰と、不安要素が一杯で安心して先を考える余裕がなくなっているのも事実である。市内産業が自動車、家電なのでボーナス景気を期待している。
		都市型ホテル（経営者）	・来客数、予約件数、人数等が前年を上回りつつあり、若干数字の動きが出てきているので、今後は多少なりとも良くなる。
		遊園地（職員）	・夏を迎えると共に、新規アトラクションなどのオープンによる集客を見込んでいる。
		住宅販売会社（従業員）	・顧客も景気がやや良くなっていることを感じとっているためか、金利の先高感に対する反応が敏感になっており、特に一次取得者の住宅購入意欲が高まっている。
	変わらない	百貨店（営業担当）	・7～8か月前から前年の売上を上回るようになってきており、この傾向が比較的続いているので、今後も同様に推移していく。
		百貨店（販売促進担当）	・ガソリンの値上げ等が響いて、衣料品や必需品から実用品に至るまで、買い控えがある。本当に必要な物以外は客が購入しようとしないう傾向になりつつある。
		スーパー（経営者）	・これから夏の商戦に入っていくなかで、競合店との競争が更に激化し、タバコの増税、ガソリンの高騰もあり、期待できそうにはない。
		スーパー（総務担当）	・食料品や日用必需品についてはそれほど大きな変化はないが、衣料品などは景気や雰囲気によって上下するので、現在のところ、さほど良くない。
		スーパー（統括）	・今の気温のまま梅雨明けが遅れると、盛夏物の奪回は困難となるので、冷夏対応の商品構成にシフト変更するが、全体をカバーできるまでには至らない。果物の生育不足から相場上昇が予測され、ティッシュ、トイレトペーパーなどの値上げも予測されることから、消費抑制が懸念される。
		スーパー（統括）	・このままいけば、天候次第でここ数年にない好成績が期待できるが、原油高に起因する商品の値上げが心配である。マグロを始めとした魚の高騰もある。
		コンビニ（店長）	・合宿などよそからの入込や夏休み等があるが、今のところ楽観できる要因がない。
		衣料品専門店（経営者）	・マスコミ等では一見、景気回復が順調のように報じているが、客の購買意欲を増進させるほどの大きな動きには結び付いていない。
家電量販店（店長）		・以前よりは好調だが、これ以上の景気の伸びは難しい。高単価の商品にばかり目が奪われるが、商品の買上点数が鈍化してきている。	
乗用車販売店（従業員）		・9月は中間決算であり車検対象台数が多いので台替えや入庫台数も増えるが、これは例年のことであり、景気が良くなるとは思えない。	

	乗用車販売店（販売担当）	・3か月後もおそらく変わらない。展示会を開いてもそれほど集客がなく、単価の低い物しか売れない。
	住関連専門店（店長）	・原油価格の変動による仕入価格の変動の心配はなくなったが、来月以降、鉄、アルミ製品の一部が値上がりするという情報もある。
	住関連専門店（仕入担当）	・原油高騰による製品原価の引上げを売価に反映させるまでにタイムラグが発生し、販売数の低下と利益率の一時的な低下の両面で厳しい状況が続いている。
	スナック（経営者）	・女性客同士のパーティーは増えたが、男性を含めた会社関係の客が減少しているので変わらない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・夏季の需要増加が望めない。駅前に立地しているが、さほど人通りが多いわけでもなく、交通量だけはあるが、取締りが厳しくなってからはピアホールなどにはマイナス要因となっている。
	旅行代理店（副支店長）	・夏休み等で当然受注は増えていくが、個人、グループの予約が多く、団体取扱いは少ない。また、天候不良、海外の情勢不安、燃油高騰が心配される。
	タクシー（経営者）	・昼間の動きは普通だが、夜の動きが伸びないので、この先も変わらない。
	観光名所（職員）	・このところの客の入込状況からすると、ホテル、レストラン関係の売上は例年並みとなる。
	ゴルフ場（副支配人）	・5、6月までは先の取り込みが結構順調であったが、ここに来て価格競争が一層激化し、値下げが効いている。燃料費、特に重油の高騰が響いており、向こう2か月先については、来場者が確保できても、経費増で収支面はなかなか厳しい。燃料が下がる見通しが立てば、もう少し収益は改善する。
	競輪場（職員）	・他場の販売額、他競技の販売額共に、増加傾向がみられない。
	設計事務所（所長）	・今までと同じく、これからもそれほどの変化はなく推移する。先行き金利の上昇等の事もあり、駆け込み客も期待できるように思うが、あまり期待しない方が無難な感じもする。
	設計事務所（所長）	・2～3か月、このまま細かい仕事をなんとかこなして、乗り切れるしかない状態である。悪い状況はしばらく続く。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・暑い日が続くと、客は郊外店の魅力でもある涼しいところへ足を運び、路上駐車場の厳しい商店街へはますます足が遠のく。
	一般小売店〔青果〕（店長）	・改正道交法もそうだが、全然良くなるような要素がみられない。新聞などで景気が良くなっているのは大手企業の勝ち組で、我々零細企業は本当に深刻である。
	百貨店（総務担当）	・法人、特に土建建設業の受注がもろに減少している。これでは中元商戦は厳しい。
	乗用車販売店（営業担当）	・ここ数年必要に迫られて購入する自動車の単価は下がってきていたが、更に低価格の車を要求されるようになってきている。
	高級レストラン（店長）	・原油価格の高騰や天候不順の影響で仕入価格が上昇しており、経営に影響が出始めている。
	一般レストラン（業務担当）	・7、8月の納涼会、宴会の予約件数は前年並みであるが、単価、人数共に前年より2割減少している。
	観光型ホテル（スタッフ）	・これから夏季シーズンに入り最も集客が見込める時期に入るが、近年、間際予約が増えている傾向にあるとはいえ、現時点での入込はあまりにも少ない。最終的にはある程度埋まってくると思うが、先が読めない現状では多少条件を低くしてでも早い段階での取り込みを図らざるを得ないかも考えている。
	都市型ホテル（スタッフ）	・これから夏休みに入るが、ガソリン代を更に値上げしたいと大手の元売りの人たちが言うっており、そうなると遠出をする人が少なくなるので、客の利用率が下がるのではないかと心配している。
	その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	・インターネットカフェを中心に、ひところは午前2～3時くらいをピークとして、一晩中ある程度混んでいたが、今は若干引けが早くなって、ピークの時間が12時前後になっている。また、3～4時ごろに客が引け始めている。
悪くなる	都市型ホテル（スタッフ）	・今後2～3か月は、年間を通じて特に利用度の低い、売上が少ない時期である。現在、営業マンを増やして暑気払い関係の獲得に全力をあげ、セールスに当たっているが、なかなか獲得できない状況である。宿泊に関しても、催事が減ってくる時期なので、何とか乗り越える必要がある。

企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（営業統括）	・7月に第四回目の国産ワインコンクールが開催されるが、年々国産ワインの品質が認識されており、今後の伸びが期待できる。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	・取引先各社共に10%弱の増産計画を立てており、その方向で推移していく可能性が高い。
		金融業（経営企画担当）	・設備投資資金需要について、製造業では生産能力増強投資や更新投資が引き続き活発であり、非製造業でも医療、福祉施設や店舗、事務所の新改築等の動きがみられる。
		広告代理店（営業担当）	・夏の商戦への宣伝広告の引き合いが前年比で20%増えている。仕様が大きく、単価の2～3割高いものも増加している。
		経営コンサルタント	・順調な企業は、受注残を多く持っているか、新規販売が良好に発生している模様である。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・現状から推移しても、受注量、システム開発量共に増加する。
	変わらない	化学工業（経営者）	・新規受注の話が雰囲気だけは出てきている。しかし、確定まではまだまだ時間が掛かりそうな状況である。
		一般機械器具製造業（経営者）	・当分の間、特に大型、新規品の案件がない。拡販に努力中である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・良くなる要素が何もない。原材料がばか高くなり、現状で作ったのでは、材料費だけで赤字になってしまうので、何とか作るのを手控えているようなところである。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・この2～3か月、受注価格、取引先の様子、周りの景気がやや良い状況で推移しているので、このまま2～3か月は同じ状況でいく。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・落ち込みの激しかったイベント受注が商業中心に回復してきているが、受注競争が激しく、利益の上昇は見込めない。商業、サービス業からのスポットコマースは増えてきている。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（営業担当）	・今まで残業を行い、納期に追われるほど仕事量があったが、来月からは急激に落ち込み、パートに自宅待機してもらうほど受注が減少している。
		不動産業（管理担当）	・7月に増床したテナントの分だけ賃貸収入は微増するが、既存テナントの更新時の賃料引下げ圧力は依然として強く、ビルオーナーからも経費の節減を強く要請されているため、今後も厳しい状況が続く。
	悪くなる	建設業（総務担当）	・建設業関係の企業は当社の損益状況でも分かるが、金融機関の融資申込が厳しくなっている。企業にとって資金は生命線であり、今後も厳しい経営は続く。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・今年は夏物の家電関係、衣料関係が若干伸びていくとみているが、原油価格高騰の影響もあり、まだ不透明な部分もある。給与関係、賃金などについては、そこそこ回転が良く、ベースアップはないにしてもまあ良い方である。
		人材派遣会社（営業担当）	・企業の求人オーダーは相変わらず多いが、それに比べ派遣スタッフの登録が少ないという現状で、非常に景気が良い。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・求人情報誌でも求人件数が増加傾向にあり、そのなかで正社員の募集も増えてきている。
		職業安定所（職員）	・今月から高校生の新卒求人の受理が始まったが、前年よりも出足が良い。景気が上向いてきそうな気配がうかがえる。
	変わらない	職業安定所（職員）	・回復の期待はしているものの、東北地域では雇用についての慎重な姿勢は崩していない。一部の企業についても、雇用の不足感はない。
		職業安定所（職員）	・新規求人数が増えているが、その中で相変わらず派遣、請負といった非正規社員の求人割合が多くなっている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・求人に影響が大きい大手製造業で採用を手控えた企業は、採用復活の再考まで半年としており、大きな変化は予測しがたい状況である。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	・積極的な採用で売り市場といわれてはいるが、都市圏や理系出身学生に対するものが多く、格差が生じているのも現実である。しかし、若返りなど全体的な底上げも図られているので、各職種共に例年以上の求人が出ることを期待したい。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-